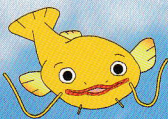


川崎市多摩川シンボルマーク



ニケ領せせらぎ館

ニケ領せせらぎ館は、国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所が管理するニケ領用水宿河原堰
管理所の一部で、多摩川エコミュージアムプランの
運営拠点及び多摩川の情報発信の拠点です。



Colors, Future!

川崎市

多摩川エコミュージアムプランとは

多摩川は、川崎市に残された貴重な自然空間であり、市民の憩いの場、ふれあいの場でもあります。また、川崎の産業・歴史・文化・自然は多摩川の恵みに育まれてきたといえます。

多摩川エコミュージアムプランは、このような川崎の背景である多摩川に着目し、多摩川と密接な関係を持つ「水環境」や、水系の涵養に不可欠な「緑」、地域が育んできた「歴史と文化」、そしてこれらを支える人々など、様々な資源を活用し、市民・企業・行政それぞれが持てる機能を発揮しながら、地域に立脚し、地域から発信するまちづくりを目指しています。この中核には地域で展開される市民活動があります。多摩川エコミュージアムプランは、市民が自らの地域の環境を考え、自らの力でよりよい環境を創りあげていこうとするものです。

大師河原水防センター（大師河原干潟館）

多摩川の洪水時などの防災活動や自然化環境、地域の歴史・文化などについて、多摩川の情報発信を行う市民活動の拠点です。洪水などによる災害時には水防活動の拠点となり、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にあります。また、だいし水辺の楽校の運営拠点にもなっています。



〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15
TEL044-287-7882 FAX 044-287-7883
URL <https://www.tamagawahigata.net/>

川崎市多摩川プランとは

これまでの多摩川エコミュージアムプランを活かし、川崎市では、市民の心のふるさとと呼べる多摩川を市民共有の財産として、より豊かな河川空間の創出を目指すため、平成19年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。

「ふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」を基本理念に掲げ、「理解」・「整備」・「保全」の3つの基本的視点から多摩川のあるべき姿を描くと共に、7つの基本目標（Ⅰ. ふるさとの川・多摩川を育む、Ⅱ. 多摩川の風景づくり、Ⅲ. 市民に身近な多摩川へ、Ⅳ. 運動施設の利便性向上、Ⅴ. 子どもの生きる力を育む場の創造、Ⅵ. 生命の賑わい豊かな多摩川へ、Ⅶ. 参加と協働による川育て）をプランの柱に55の推進施策と、それらの先導的な事業として「リーディング・プロジェクト」を進めてきました。リーディング・プロジェクトには3つあり、川崎っ子プロジェクト、みんなで行こう多摩川プロジェクト、生命の再生プロジェクトを推進し、その成果として「渡し」の復活イベントの開催、アユの再生調査と生物調査の実施、バーベキュー広場の開設と桜並木の整備などを行いました。



川崎市新多摩川プランとは

「川崎市新多摩川プラン」は、改めて多摩川を見つめ直し、川崎のシンボルである「ふるさとの川・多摩川」の歴史的・文化的資源、そして環境資源を最大限に活かしたにぎわいの場（憩い・遊び・学ぶ）の創出を目指すため、平成28年3月に「川崎市多摩川プラン」を改定しました。

「川崎市新多摩川プラン」では、これまでの川崎市多摩川プランで掲げている「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」の基本理念を継承し、確実に計画を推し進めていくため、新たな5つの基本目標の各々に対し、推進施策の方向性を設定しました。また、それぞれの推進施策ごとに実施事業を定め、優先的かつ重点的に実施いくものについて、3つの重点プロジェクトを設定しています。なお、計画期間は平成28年度から10年としています。

基本理念

「川とふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」

基本目標 Ⅰ 自然と調和した美しい多摩川へ

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 河原風景の保全 | 5. 多自然川づくりの推進 |
| 2. 花と緑のある川づくりの推進 | 6. 生物多様性の保全に向けた普及啓発等の推進 |
| 3. 水と緑のネットワーク | |
| 4. 水環境の向上 | |

基本目標 Ⅱ 多摩川を知り災害から市民を守る

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 7. 治水の強化・防災性の向上 | 10. 河川敷を利用した防災訓練の実施 |
| 8. 緊急用河川敷道路の整備 | 11. 防災情報の発信 |
| 9. 防災教育の推進 | |

基本目標 Ⅲ 子どもの生きる力を育む場の創造

- | | |
|------------------------|------------------|
| 12. 歴史的・文化的資源の収集・伝承 | 15. 環境学習、環境教育の推進 |
| 13. 「ふるさと資産・遺産」の活用 | 16. 水辺の楽校の展開 |
| 14. ニヶ領用水を活かしたまちづくりの推進 | |

基本目標 Ⅳ 多摩川とともに歩むみんなの暮らし

- | | |
|------------------|--------------------|
| 17. アクセスの向上 | 22. 河川空間の新たな利用促進 |
| 18. 施設の再配置・再整備 | 23. 河川敷のレジャー利用の適正化 |
| 19. サイクリングコースの充実 | 24. 自然エネルギーの利用 |
| 20. 施設の充実 | 25. ホームレスの自立支援策の推進 |
| 21. 管理水準の向上 | |

基本目標 Ⅴ つながりをも深めて魅力的な流域へ

- | | |
|----------------------|------------------|
| 26. 流域自治体等との協働・推進 | 29. 総合的な情報共有・受発信 |
| 27. 多様な主体を支えるシステムづくり | 30. 市民参加の川づくり |
| 28. 多摩川を活用したイベントの開催 | |

重点プロジェクト

1 自然とふれあい安心子育てプロジェクト

2 みんなで生き生き活動プロジェクト

3 多摩川の風景とともに歩むプロジェクト

施設案内・利用ガイド

